

【団体名】

# かごだんSTEP 展開プロジェクト (鹿児島県鹿児島市)



【活動のテーマ】

## 地方都市郊外の住宅地を持続可能なまちにするための地域住民と大学等の連携活動

【助成対象活動に至った理由や背景】

### ■活動の経緯■

高齢化などともなう諸課題が現われはじめている**郊外の住宅団地群を持続可能な居住地としていく**ために、鹿児島市では 2020 年度末に「かごしま団地みらい創造プラン」が策定されました。「かごだんSTEP 展開プロジェクト」は、この「団地みらい創造プラン」を策定するにあたって地域の課題把握とその解決の方向性を見いだすことを目的に鹿児島市都市計画課が開催した**住民ワークショップに団地外からの支援者として参加したメンバーと住民有志とで構成**されています。

団地別のワークショップは 2018 年 12 月から市内 3 団地（伊敷・西郷・皇徳寺）で各 7～8 回開催され、意見交換を重ねた上で、現在は**住民有志による取組みがそれぞれの団地で展開**しています。当団体のメンバーは、各団地での住民主体の団体の立ち上げから、その後のイベントの開催にいたるまで一緒に取り組んできました。



まち歩きを通して団地についての理解を深める



WSを通して様々な立場から団地の魅力と課題について話し合う



住民有志による木材廃材を利用したベンチ作りWS



団地活性化に向けた市の取り組み方針

### ■活動の目的■

今後はワークショップが先行して開催された 3 団地以外の団地においても、地域が主体となった取組みの推進、展開が期待されており、他の団地も含めた持続可能な協働のあり方を模索していく必要があります。このたび助成をいただいた活動では、**3 団地共通のニーズとして明らかになっている「気軽に集まれる場づくり」に団地間の交流を図りつつ取り組む**ことで、**団地群としての連携と他団地への波及を見ずえた基盤**をつくることを目的としています。

3 団地のこれまでの動きから必要な支援は何か考える



活動する場



作業する場



交流する場



話し合える場

まちへの関心をどう生み出すか

他の団地でも取り組めること

産官学民で協働できること

活動の中心プレイヤーは団地の住民  
団地外の人との関わり方

誰でも気軽に集まれる場づくり

の実現を目指す



## 3団地合同

顔合わせと活動方針の確認

3団地住民代表+市都市計画課+かごだん



▲ 3回の定例会参加



公民館カフェ = 焙煎珈琲をテーマとした気軽に集まれる場を企画



公民館カフェ開催協力



## @ 皇徳寺団地



▲ 定例会で活動のアイデア出し



▲ 移動式拠点アイデア出しWS

▼ 模型を使ったワークを企画



◀ ごみ拾い+ウォーキング  
開催協力



## @ 伊敷団地

### 【今後の活動予定】

【1】「移動式拠点」の開発を通じた団地間の交流

→ 住民と共に「気軽に集まれる場づくり」の推進

→ 住民主体の拠点づくりの事例見学会の企画

【2】「移動式拠点」の活用を通じた団地群としての連携

→ 各団地の活動から団地間で連携できる事柄の検討

→ PJT 活動を記録し、他団地で参照可能な媒体を作成

